

## 事業所通信

〒520-0113 大津市坂本6丁目25-30 TEL: 077-579-7121

スギ花粉治療の決め手！  
『舌下免疫療法』を始めます

所長 今村 浩

つらい、花粉症の季節がやって来ました。黄砂も飛んで、今年は症状がきつくなる人が例年以上に多いようです。また、地球の温暖化が進み、年々花粉症の悪化が予測されています。

そもそも花粉症とは、スギやヒノキなどの花粉に対して抗体がある人が、再び花粉にさらされることでアレルギー反応を発現する状態を指します。

ところが、花粉症を引き起こす原因となる抗原に持続的にさらされ続けていると、やがて抗原に反応しなくな

る現象が現れます。この状態を『免疫寛容』と呼びます。この免疫寛容の状態に誘導する治療法がアレルギー免疫療法です。

以前は、抗原の投与方法は皮下注射（皮下免疫療法）だけでしたが、最近は舌下免疫療法という、抗原の入った薬（1錠144円、1割負担で14円）を舌の下に1分間溶して保持し飲み込む治療法が登場しました。手軽に行えるので、坂本民主診療所でも始めることにしました。

この治療法の特徴は以下の通りです。

- ・花粉シーズン中は治療を開始できず、シーズン終了後（6月頃）から開始します。
  - ・3年間、毎日舌下にスギ抗原の入ったお薬を1錠溶かして、タイマーを見ながら1分間保持し、その後飲み込むのが一応の原則です。しかし、一年を過ぎたあたりから効果が実感でき、2年間続けられたら8割以上の方に効果があるようです。
- 毎日と言っても、1日や2日忘れてもかまいません。
- ・対象は5才以上で、子どもにも投与できます。また、薬は常温保存が可能なので、旅行にも持参できます。
  - ・3年目くらいで寛解状態になれば、薬はいったん止められます。ただし、3～4年後に再発すれば、治療を再開します。
  - ・ヒノキ花粉に対する治療薬はなく、今後も開発予定はないようです。しかし、スギとヒノキは交差免疫があり、スギ花粉が軽快するとヒノキ花粉も軽快する傾向があります。

花粉でつらくて仕方がない方は、ぜひご相談ください。お勧めです。

## 休診のお知らせ

天皇退位に伴うゴールデンウィークの連休中は  
すべて休診とさせていただきます。

4月27日(土)午前診 通常診療(埜田医師)

4月28日(日)～5月6日(月) 休診

5月 7日(火)～通常診療

ご迷惑をおかけしますが、連休前にお早めにご受診いただきますよう、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

